

学年	高校2年	教科	情報科	科目	情報Ⅰ		単位数	2
教科書名		最新情報Ⅰ（実教出版）			副教材名	なし		
コース・クラス		中高一貫理系						

I 目標

メディアについての理解とそれを適切に判断する力を育成する。また、コミュニケーション能力を育成する。
大学入学共通テストに対応できる知識を身に付ける。

II 授業のねらい

- ・情報のマナー、情報モラルを知る。
- ・プログラミングの仕組みを知り、フローチャートを理解する。
- ・身の回りのICTを理解し、情報活用能力を育てる。
- ・問題解決能力を身に付け、論理的な発表表現を身に付ける。
- ・情報社会に生きる上での、知らなければいけない法律や制度を知り、コミュニティなどへの参加方法などを知る。

III 授業の進め方

- ・実習を中心に行い、体験的に授業内容を理解していく。
- ・座学では、プリント学習を中心に行う。

IV 学習上の留意点

- ・1つ1つの課題に熱心に取り組む。
- ・その時間に教わったことから、自ら考え行動できるようにする。

V 定期試験

- ・1学期期末試験：インターネットの仕組み、著作権等
- ・2学期期末試験：情報のデジタル表現、ハードウェア・ソフトウェアの利用等
- ・3学期学年末試験：SNS利用時に想定される脅威と対策、1年間学んだことの復習

VI 評価の方法

- ・実習課題の評価
 - ・実技試験の成績
 - ・定期試験の成績
 - ・授業態度など
- を、総合的に評価。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	導入・タイピング練習 Excel ① 基本操作、各種計算 Excel ② 表の作成と編集、	Excel の実技試験 期末試験：座学の確認試験	- Excel の、基本的な操作を覚え、活用できるようにする。 - 目的に応じたグラフを作成し、データの可視化ができるようにする。 - 情報モラルを知る。 - サイバー犯罪の怖さを知る。 - インターネットでの検索を勉強し、情報の正確な扱い方を知る。
	5	いろいろな関数 Excel ③ if 関数 Excel ④ グラフの作成		
	6	座学 ① 情報モラル・サイバー犯罪 座学 ② インターネット		
	7	座学 ③ 著作権 座学 ④ 発展的な内容		
二学期	9	プログラミング 「Python」 ①プログラムの仕組みを知る	Python を利用した課題 Python の実技試験 動画作成の評価 期末試験：座学の確認試験	- プログラムの原理を学ぶ。 - フローチャートからプログラムの作成を行えるようになる。 - 目的に応じたアルゴリズムを考えられるようになる。 - 動画の仕組みを知り、動画編集を行えるようになる。 - パソコンの仕組みや現代社会におけるデジタル化について知る。 - 情報化社会の怖さを知る。
	10	②フローチャートの仕組みを知る ③目的に応じたアルゴリズムを考える		
	11	動画作成：パワーディレクター 『プロモーションムービーの作成』		
	12	座学 ① ハードウェアの利用 座学 ② デジタル表現 座学 ③ 情報のデジタル化・情報表現と伝達 座学 ④ 発展的な内容		
三学期	1	問題解決とコンピュータの活用 『デザインプレゼンテーション』	デザインプレゼンテーションの評価 タイピング試験 学年末試験：1 年間の学んだことの確認試験	- 身近な問題を多角的視野でとられ、問題点の本質を理解する。 - 必要な情報を整理し、他者に伝えられるようにする。 - SNS利用の脅威について改めて理解する。
	2	座学 ① SNS利用時に想定される脅威と対策・キーボード		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。